

第4章 | 地区別計画



計画策定に向けた流れ

(1) 地区別計画について

地区別計画は、地域の特性に応じた福祉保健課題にきめ細かく対応していくために、連合自治会町内会（以下、「地区連合」）及び地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」）のエリアごとに策定・推進する皆さんの暮らしに身近な計画です。

地区連合・地区社協エリアごとに住民の皆さんが中心となり、各地区の状況に合わせた様々な方法で話し合いを重ね、「目標や取組」、「5年後にめざしたいまちの姿」をまとめて、策定されています。

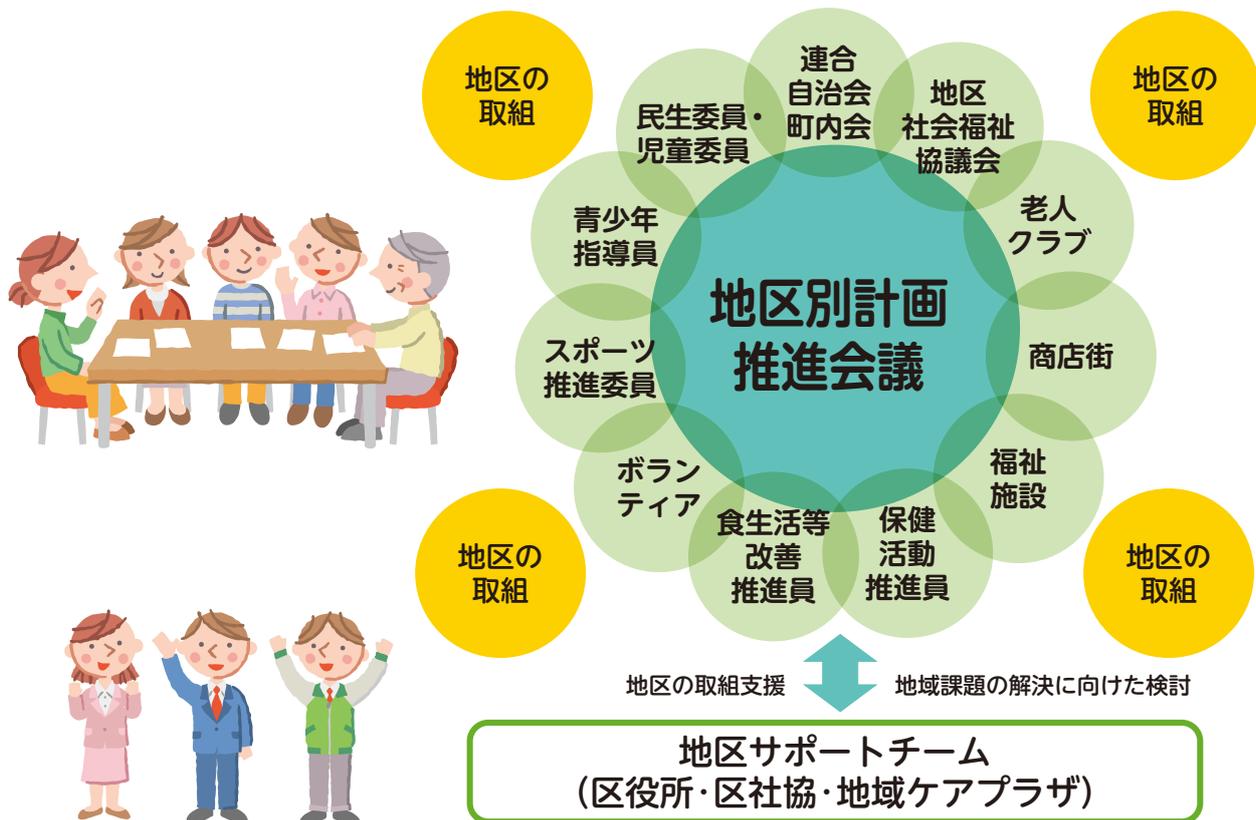
(2) 地区別計画推進会議について

地区連合、地区社協などの地域の福祉保健活動に関わる団体や関係機関が主体となり、地区別計画を推進するための会議です。地区社協が中心となり推進している地区もあります。地域の福祉保健に関わる活動や課題解決のために、話し合いや情報共有を行います。

(3) 区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザによる支援

青葉区は15の地区連合ごとに区役所・区社協・地域ケアプラザで「地区サポートチーム」を構成しています。地区サポートチームは、「地区サポートチーム会議」を定期的に行い、チームメンバーが日常業務の中で把握した地域の情報や課題などを共有し、解決に向けた支援をしています。

〈地区別計画の推進体制イメージ〉



【青葉区の連合自治会町内会（地区社会福祉協議会）エリア】

青葉区には15の連合自治会町内会が組織されています。地区別計画は、身近な地域の多様なニーズに対応するため、15の連合自治会町内会（地区社会福祉協議会）エリアごとに策定しています。



【地区別計画の見方】

「地区の概況」
地区内の主な公共施設や市立小中学校の位置を掲載しています。(地区外でも当該地区を担当している地域ケアプラザは掲載しています。)

「5年後にめざしたいまちの姿」
「自分たちの地域がこうなるといいな」という地区の5年後の姿を掲載しています。

「プロフィール」
地域の特徴や地区内で行われている行事を紹介しています。

「地区内の町丁目」
各連合自治会町内会エリアに属している区域を掲載しています。複数の地区に属している町丁目については「(一部)」と記載しています。

「計画の柱」
地区の目標と関連が深い「計画の柱」をアイコンで表しています。

「第3期計画の振り返り」
第3期計画の策定にあたって、各地区で実施した推進会議等において、地域の皆さんから出されていた主な意見を掲載しています。

「推進会議の主なメンバー」
各地区の推進会議のメンバーとして計画の推進に参加している主な団体や関係機関を掲載しています。
※地区によって推進会議の構成メンバーは異なります。

「地域で行われている活動」
地区で行われている主な福祉保健活動を紹介しています。

「地区の目標・取組」
地域の生活課題を解決するために、15地区それぞれの地域の特性を踏まえ策定した目標と取組を掲載しています。
※地区によって目標や取組の数は異なります。

「地域力高める人材を育てよう」
● 特技を活かす等、一緒に地域の活動をすすめる人を育てよう
● 活動団体間の結びつきを深め、多世代の交流や
● 芸能大会など、老人ク
● 若い世代が地域活動やボランティア活動を始めよう
● 地域行事を通じて一緒に活動する人材を発掘し、育成していく

「地域全体で見守りの輪を広げ、高齢者が生き生きしているまち！」
● 高齢者施設等とも連携し、介護予防や生活支援などに取り組む地域づくりを進める
● 様々な場で認知症を理
● 芸能大会など、老人ク
● 様々な人が関われる、

「地域で子育てを育み育てられるまち」
● 家族や親同士、多世代
● 「郷土料理を作ろう」等
● 地域全体で子どもたち
● 地域行事に子どもが参

中里地区

中里地区は青葉区の中央に位置し、地区の東側に住宅地が広がり、また農地の利用も多い地域です。地域を住み良い環境にすることや人々の交流をモットーに、学校や施設と協力しながら、団体の特徴に応じて活動を続けています。盆踊り大会や夏祭り、どんど焼き、防災訓練等が行われ、子どもから高齢者まで共に行事に参加することによって、住民同士の交流、親睦や住民の輪が発展し、次の地域活動へと広がっています。

地区内の町丁目 市ケ尾町（一部）、大場町、鉄町、黒須田、みすずが丘



第3期計画の振り返り

- 学校や施設との連携をし、若い世代に地域のことを知ってもらい、さらに愛着を持ってもらいたい。
- 様々な方法で防災訓練が実施できており、防災意識の醸成とつながっている。
- まつりでは、以前は参加者だった学生がボランティアとして参加してくれた。参加者から担い手へのステップアップができてきた。
- 集える場があることで、住民同士の顔が見え理解し合える「お互い様」の形ができている一方、自ら手を挙げられない人への支援が課題。
- 転入してきてすぐ声をかけたことで、親子が地域行事に参加してくれた。最初のきっかけが大切。



推進会議の主なメンバー

連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、老人クラブ、銀の会（ボランティア団体）、緑の郷（特別養護老人ホーム）、横浜あおばの里（介護老人保健施設）、横浜シルバープラザ（介護老人保健施設）、地域療育センターあおば、親と子のつどいの広場 WITH
担当地域ケアプラザ：大場地域ケアプラザ、すすき野地域ケアプラザ

地域で行われている活動



スポーツ大会



お祭り



郷土料理を作ろう

5年後にめざしたいまちの姿

みんなで支えあい、 ふるさととして愛されるまち “中里”

目標1

みんなが助け合い、 協力できるコミュニティをつくらう！



取組

- 伝統行事や地域活動をとおして、地域への愛着を深める
- 若い世代や地域の情報が届きにくい人への地域活動のPR方法を工夫する
- 防災訓練等の取組を通じて、住民の防災意識を醸成していく
- 支え合いカードの活用を通じて、災害時の助けあいを広げる

目標2

地域力を高める人材を育てよう！



取組

- 特技を活かす等、一緒に地域の活動をする人を増やし、次世代の担い手を育成する
- 活動団体間の結びつきを深め、多世代の交流や活動の拡大を図る
- 若い世代が地域活動やボランティア活動を始めるためのきっかけや機会をつくる
- 地域行事を通じて一緒に活動する人材を発掘し、育成していく

目標3

地域全体で見守りの輪を広げ、 高齢者が生き生きしているまち！



取組

- 高齢者施設等とも連携し、介護予防や生活支援などに取り組む地域づくりを進める
- 様々な場で認知症を理解する機会をつくる
- 芸能大会など、老人クラブの活発な活動を継続していく
- 様々な人が関われる、相談・見守り体制づくりをすすめる

目標4

地域で子育てをし、安心して子どもを 育てられるまち！



取組

- 家族や親同士、多世代が参加できる居場所づくりを継続していく
- 「郷土料理を作ろう」等、子育て世代を中心とした交流の取組を継続していく
- 地域全体で子どもたちが地域活動に参加できる環境づくりをしていく
- 地域行事に子どもが参加して、この地域が好きと思える体験をしてもらう

中里北部地区

中里北部地区は、新しく住宅開発された地域と古くからある地域とが混在しています。公園も多く、寺家町周辺では田園風景も見られ、緑豊かな地域です。地域の活動には、子どもから高齢者まであらゆる世代が大勢参加し、取組が継続しています。また、地域ケアプラザを拠点として、子ども、高齢者、障害者などを対象とした活動が盛んです。ちょっとした困りごとを地域のボランティアでお手伝いする「ちょこボラ」（第2期～）、地域全体で見守りの輪を広げる「気づきの和連絡会」（第3期～）などを通じ、身近な地域で支え合える関係づくりが進んでいます。

地区内の
町丁目

鴨志田町、寺家町、たちばな台一丁目、たちばな台二丁目、成合町



第3期計画の振り返り

- 行事を通じて担い手を発掘するとともに、どのように担い手になってもらうか。
- 地域に愛着を持ち、人とのつながりや交流をもってもらいたい。
- 声掛けやあいさつを通じた、見守りの意識があるので、子どもや大人もお互いにあいさつをしていける地域にしたい。
- 大学等との活動や情報交換等を通じて連携していけると良い。
- 地域の情報を発信し、地域のことに関心を持ってもらいたい。



推進会議の主なメンバー

連合町内会、単位自治会町内会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、友愛活動員、青少年指導員、スポーツ推進委員、家庭防災員、PTA、ボランティア団体；トゥギャザー、ひろがりサロン、ひまわり会、かも☆ん、ちょこボラ
担当地域ケアプラザ：鴨志田地域ケアプラザ

地域で行われている活動



お花見会



ボランティア・事業所連絡会



マラソン大会

5年後にめざしたいまちの姿

あらゆる世代の交流がさかんに行われ、
さまざまな人の和が広がり、
すべての住民が地域の一員と感じられるまち

目標1

若い世代から高齢者まで地域で活躍できる
生き生きしたまちにしよう！



取組

- 若い世代から高齢者まで、趣味や特技をいかして、地域で活躍できる機会をつくる
- お祭りやマラソン大会等の地域のイベントを継続し、世代間交流を進める
- 学校などとも協力しながら、「ちょこボラ」を推進し、地域活動に興味を持ってもらう
- 地域に関心をもてる機会を増やし、様々な世代に向けて、多様な手段で情報を発信する
- 大学と連携し、様々な地域活動を活性化させる

目標2

それぞれの立場で、地域で過ごしている人を
ゆるやかに見守ろう！



取組

- 近所で気軽にあいさつをし、お互いにもう一声かけられる地域にする
- 困っている人が気軽に相談できる場を多様な手段でPRする
- 認知症を理解し、認知症の講習会等を身近な場所で定期的に継続して行う
- 企業や団体、学校とも連携し、「気づきの和連絡会」などを通して、見守りの輪を広げる

目標3

子どもが自分のまちを
もっと愛せる地域にしよう！



取組

- 子供や子育て世代が安心して地域とつながる機会をつくる
- 地域と子供たちが安心してあいさつできる取組を行う
- 学校と連携した活動や交流、HPなども活用した情報交換を促進する
- 地域の行事やパトロールへの子供の参加を推進するために、発信方法を工夫する

市ケ尾地区

市ケ尾地区は青葉区の南東に位置し、都筑区に隣接しています。地区内には区役所、警察署、消防署、税務署、区社会福祉協議会等があり、青葉区の官庁街としての顔も持っています。地区活動ではお祭りや運動会といった行事の他に、高齢者サロン、子育てサロンなどが盛んであり、地域のつながりづくりの工夫も始まっています。また、地区内にある学校等と協力などしながら、若い世代も含めた地区活動の展開がみられます。

地区内の町丁目 市ケ尾町（一部を除く）



第3期計画の振り返り

- 地域のことを次の世代に伝え、どのように受け継いでいくか。
- 防犯パトロール等を通じて、安全安心な地域にしたい。
- あいさつや声掛けを通じて、地域とつながりをもっていけたら。
- 閉じこもりがちなりタイア世代の方に、どのように地域活動に参加してもらうか。
- 地域のイベントを地域の広報紙に掲載するなど、情報発信していきたい。



推進会議の主なメンバー

連合自治会、単位自治会町内会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、老人クラブ、食生活等改善推進員、中途障害者地域活動支援センター青葉の風、ボランティア
担当地域ケアプラザ：ビオラ市ケ尾地域ケアプラザ

地域で行われている活動



ビオラの畑（サツマイモ掘り）



ふれあいの会



子ども会クリスマスパーティ

市ケ尾地区 地域福祉保健計画（令和3年度～令和7年度）

5年後にめざしたいまちの姿

みんなで地域のつながりを深め、 楽しくイキイキと活動できるまち市ケ尾

目標1

地域活動を活かして人がつながり、 誰もが楽しく活躍できる地域に！



取組

- あいさつ、声かけでコミュニケーションを深める
- 地域団体間の情報共有を密にして、相互のつながりを強める
- 広報誌「市ケ尾だより」やSNSなどで、地域活動の魅力を発信する
- 畑の取組や子ども会などの活動を通して、子どもや男性など多様な世代が交流できる場をつくる
- 地域活動を行いたい住民が増え、そうした住民が活躍できる機会をつくる

目標2

日頃からつながって、いつ災害が起こっても 困らないまちに！



取組

- 日頃の集まりの中で、各自の防災の備え（食糧、非常持出品、家族の話合い等）や地域防災拠点、いっとき避難場所をみんなで確認する機会をつくる
- 学校等と連携して、子ども達を含めた多世代の防災の意識を深める
- あおば災害ネットをさらに普及させる

目標3

食と運動で、誰もがはつらつとした 暮らしを！



取組

- 子どもも大人も一緒に食と健康づくりに関心を持てるような啓発、催しを行う
- 閉じこもりがちな人や働いている世代にも声をかけ、身近な地域での健康づくり活動への参加を促す
- もの忘れがあったり、体力が低下した人も通うことができる場や機会をつくる
- 参加しやすい健康づくりの取組をさらにPRする

上谷本地区

上谷本地区は、もえぎ野・柿の木台・みたけ台のほぼ同規模の3町内会で構成されています。町内会や地区社会福祉協議会をはじめとした多くの関係団体が、互いに協力しあいながら、長年にわたり地域行事やイベントを実施しており、住民交流の機会となっています。また、地域の関係団体が連携した見守り活動を、地区全体で積極的に進めています。



地区内の町丁目 柿の木台、上谷本町、みたけ台、もえぎ野

第3期計画の振り返り

- 誰もが参加できる事業や居場所をもっとPRして知ってもらえるといい。
- 「行ってみよう！」と思ってもらえる活動や取組を作り上げることが大切。
- 障害理解に関する取組を始めた。今後、地域で障害児者にどのように寄り添っていけるか考えていけるとよい。
- 元気なうちから地域とつながることが大切。
- どんな世代にも地域の情報が届くようになるとよい。



推進会議の主なメンバー

地区社会福祉協議会（連合町内会、単位町内会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、青少年指導員、スポーツ推進委員、老人クラブ、子ども会、更生保護女性会、地区社協ボランティア会、上谷本ふれあい食事会、もえぎ野ふれあいの樹林愛護会）

地域で行われている活動



ぷかぷかパン教室



地域ふれあい会



ふれあい食事会

5年後にめざしたいまちの姿

誰もが参加できる活動・居場所が充実し、 つながりが深いまち

目標1

多世代間や障害者との交流を通して、
つながりの大切さを理解しあおう！
お互いに見守り支えあおう！



取組

- 地域の特長を生かし、住民同士のつながりをつくる
- 健康づくりの取組などを通じて、元気なうちから地域とつながる機会をつくる
- 地域資源を活用して、人が集まる場やつながりづくりの場を充実させる
- あおば支援学校や横浜中里学園と連携し障害に対する理解を深める
- ちょっとした「困った」を発信・共有・解決できる仕組みをつくる

目標2

防災、減災、防犯意識を高め、
安心安全なまちづくりに努めよう！



取組

- 広く住民が参加しやすい地域防災イベントを開催する
- 日頃から小さい単位でつながり、いざというときに助けあえる顔の見える関係づくりを行う
- 防災、減災、防犯について学びあえる研修を開催する
- 災害時に地域ぐるみで要援護者（高齢者や障害者等）の支援ができるような取組をすすめる
- 関係機関や団体と連携し、住民が被害に遭わないよう啓発を行う

目標3

誰でも地域情報を共有できるよう分かりやすく発信しよう！



取組

- 簡潔で分かりやすい表現を心掛けて、誰もが理解できる情報発信を行う
- 地域イベントの際に、地区社協や町内会、民生委員など地域の福祉団体の活動をPRする
- ホームページを活用して情報発信の強化を行う
- 地域情報をリアルタイムに配信できるよう、情報のネットワークづくりをすすめる
- 回覧板や掲示板の内容を工夫し、地域住民に広く地域情報を発信する

谷本地区

谷本地区は、エリアの北部に田園都市線「藤が丘駅」と国道246号線が東西に走り、東名高速道路「横浜青葉インター」があるなど、主要な交通手段が身近に存在しています。各自治会町内会で防災訓練を積極的に行い、「大丈夫手ぬぐい」の普及啓発をしています。また、身近な地域で新たなつながりができるように高齢者サロンや子育てサロンを実施しています。各世代に合わせた情報発信にも力を入れています。



地区内の町丁目 梅が丘、下谷本町、千草台、藤が丘一丁目、藤が丘二丁目

第3期計画の振り返り

- 誰もがつながりを持てるように、世代を超えて地域に溶け込んでもらう工夫が必要。
- 交流の機会や、見守りの輪が広がってきている。気になる情報をキャッチしたら誰かに届けることが大切。
- 自治会館がもっと活用されるといい。
- いざという時のために、あいさつなどの近所づきあいや、「大丈夫手ぬぐい」の活用などを進めていきたい。
- 障がい者や認知症への理解を深める機会があるといい。



推進会議の主なメンバー

連合自治会、単位自治会町内会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、老人クラブ連合会、連合子ども会

担当地域ケアプラザ：もえぎ野地域ケアプラザ

地域で行われている活動



子育てひろば



連合体育祭



大丈夫手ぬぐい

5年後にめざしたいまちの姿

誰もが地域のつながりを深め、 お互いに助け合える優しいまち

目標1 つながるきっかけを増やそう！



取組

- 地域の誰もが、行事に積極的に参加できるよう促し、交流の輪を広げる
- 転入者や子育て世代に、声かけをしながら、つながりのきっかけを作っていく
- 様々な世代の人たちに関心を持ってもらえるように、世代に合わせた情報発信を進める
- 各イベント、行事の役割を分かりやすく整理し、誰もが力を発揮できる場面を設定する
- 「地域であったらあいさつをしよう」という気持ちを、地域のみみんなで共有するために、各自出来る範囲でのあいさつ運動ができるように仕組みを作る

目標2 見守り・付き合いを一歩進めよう！



取組

- 地域活動を通して、住民や団体同士の横のつながりづくりを進める
- 地域活動や社会参加をつうじて、心と身体の健康づくり、生きがいつくりに取り組む
- 商店やスーパー、コンビニ等との連携を図り、地域のつながりを深める
- 認知症の人や障がい児・者が暮らしやすい地域にするために、交流の機会などを通じて理解啓発をしていく
- より安心して暮らせるまちに向けて、団体や活動等のつながりを活かして、子ども、高齢者、障がい児・者などへのゆるやかな見守りの輪を広めていく

目標3 災害時に誰もが安全に避難できるように 協力し合っていこう！



取組

- 災害種別ごとの避難方法等を分かりやすく周知し、高齢者や障がい者などの要援護者が災害時に安全に避難できるようにする
- いざという時に備えて、防災訓練の広報等を充実させ、様々な世代が参加できるようにする
- 「大丈夫手ぬぐい」等の訓練を定期的に行い、地域の防災活動に関わってくれる人を増やす

恩田地区

恩田地区は青葉区の南西部に位置し、豊かな緑、丘陵、田園等、のどかな里山風景が広がっています。恩田連合自治会は、地域範囲・世帯数の増加に伴い、昭和62年に現在の青葉台連合自治会と発展的分割を行い再編成され、発足しました。現在は、22単位自治会により、構成されています。地区内では、自治会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、老人クラブ、子供会等、関係団体が協力して、さまざまな活動を活発に行っています。防犯防災に注力する等、誰もが「安全・安心」に暮らし、住みよい地域と実感できるよう、さまざまな活動を活発に行っています。

地区内の町丁目 あかね台一丁目、あかね台二丁目、榎が丘（一部）、恩田町、桂台一丁目、桂台二丁目、田奈町、松風台



第3期計画の振り返り

- 地域での活動を通じ世代を超えて交流し、コミュニケーションを深めたい。
- 定年後の男性や高齢者に、地域でもっと活躍してほしい。
- 掲示板やチラシのポスティング等を通じ、地域の活動をもっとPRしたい。
- 自治会、民生委員、PTAや老人クラブ等各団体のつながりをさらに深める。
- 伝統行事、郷土料理を伝承し、のどかな里山を次世代につなげていく。
- 防犯・防災対策や災害時対策を強化していく。



推進会議の主なメンバー

連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員会、食生活等改善推進員、老人クラブ、もみじ保育園、あかね台光の子保育園、NPO法人青葉の樹（障がい者団体）
担当地域ケアプラザ：恩田地域ケアプラザ

地域で行われている活動



福祉と文化の集い



グランドゴルフ大会



見守り訪問活動の様子（民生委員）
※訪問時、対象者へ生活用品として、ビニール袋・ハンドソープを配布（令和3年度）。

5年後にめざしたいまちの姿

「地域を愛する気持ち」を大切にし、 お互いを支えあうまち

目標1 地域参加のきっかけ（機会・場）をつくろう



取組

- 自治会や各団体が連携し、元気な高齢者が活躍できる場を増やし「安心して歳を重ねられる地域」をつくる
- 親子が地域に参加でき、子育て中の親同士が交流できる場や機会を増やし「子育てを楽しめる」地域をつくる
- 地域の拠点である地域ケアプラザを中心として、自治会館やコミュニティハウス等を活用して交流を図る
- 若い世代から高齢世代までと一緒に地域活動を支えられるように、自治会や各団体に働きかけて、参加しやすい仕組みを工夫する

目標2 交流を広げていこう・深めていこう



取組

- 学校との関係をより大事にしながら、地域の想いをつなげる人材を育む
- 自治会、民児協等の団体や活動を、掲示板やチラシ等の、多様な手段でPRし、知ってもらう
- 身近な話し合いの場を活用し、自治会、民児協等の団体や企業の繋がりを更に深める
- 地域イベントや活動を通じて、参加者やスタッフが顔見知りになり、一緒に活動する仲間を増やす

目標3 地域参加を通じて、世代を超えて交流し、 誰もが健康（安心・安全）に暮らせる地域にしよう



取組

- 子どもから高齢者まで、多様な世代が交流できるよう、地域イベント等の実施や、居場所づくりを進める。また、その活動により、地域に愛着を持つ子供を育てていく
- 自治会や各団体が連携し、高齢者・子どもの見守りを行っていく
- 防犯・防災対策を強化し、住民の意識をさらに高めるとともに、「支え合いカード」等の取組みを実施していく
- ラジオ体操やウォーキング等の活動を通じて、健康づくりを進めていく

青葉台地区

青葉台地区は青葉区の南部に位置し、町名に樹木の名前が多く使われている閑静な住宅街と、青葉台駅を中心とした活気ある商業地区とで構成されています。地区内には2つの地域ケアプラザをはじめ、高齢者、障害者、子ども等に関する福祉施設が多いことも特徴の一つです。連合自治会や地区社会福祉協議会を中心に、商店会や各種団体・学校・企業等と連携した活動が活発で、住民どうしの交流も盛んに行われています。



地区内の町丁目 青葉台一丁目、青葉台二丁目、榎が丘（一部）、桜台、さつきが丘、しらとり台、つつじが丘、若草台

第3期計画の振り返り

- 福祉まつりでは、民生委員や施設の活動について、近隣住民の方々に広く周知できる良い機会となっている。
- 地域人材の発掘のため、気軽に参加しやすくなるよう、活動の内容が見える発信方法を考えていく。
- 風水害を想定した福祉施設での防災訓練をやっていきたい。
- こどもハロウィンまつりなど、子どもたちが主役のイベントを活性化できれば良い。



推進会議の主なメンバー

連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、青葉台南店会、青葉台商店会、青葉台桜台商店会、地域子育て支援拠点ラフル、消防団
 担当地域ケアプラザ：さつきが丘地域ケアプラザ、青葉台地域ケアプラザ

地域で行われている活動



福祉まつり



こどもハロウィンまつり



介護施設支援訓練

青葉台地区 地域福祉保健計画（令和3年度～令和7年度）

5年後にめざしたいまちの姿

みんなが活躍し、ふれあいが深まるかがやくまち

目標1 顔の見える地域コミュニティをつくろう！



取組

- さまざまな世代の人々が集まる「福祉まつり」などをいかし、地域のつながりを深めていく
- 防災訓練やPTAとも連携している環境浄化活動、防犯パトロール活動を通じて、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進める
- 各商店会が行う活動に対して、地域をあげて協力をしていく
- 団体同士の連携・情報共有を図り、より充実した顔の見える関係づくりを進める
- 地域住民が健康づくりの活動を通して気軽に交流を図れるようにしていく

目標2 地域の人材を掘り起こし、まちづくりへの参加を促そう！



取組

- 「青葉台地区支えあいネットワーク」などを通じて、誰もが気軽に地域活動に参加、継続できるよう場づくりをしていく
- 誰もが地域の活動に関心が持てるように、様々な手段で工夫して発信していく
- 既存のお祭りやイベントなどの機会を通じて、若い世代にも活動に関心を持ってもらうよう声かけをする

目標3 高齢者・障がい者を地域で温かく見守っていこう！



取組

- 地域の福祉施設における防災訓練等を通じて地域内の相互理解を深め、日頃から支えあえる関係をつくる
- 支え合いカードやふれあい広場などを通じて、地域全体で高齢者や障がい者を見守っていく
- 地域の中で、認知症の高齢者や障がい者への理解を深める機会をつくる

目標4 すべての子ども達がいきいきと育つ環境をつくろう！



取組

- 子育て広場など、子育て世代が集まれる場を通じて、親同士がつながるきっかけづくりを支援する
- 学校と連携した地域の活動など、子どもたちのより積極的な地域参加を支援する
- こどもハロウィンまつりや夏祭りなどを通じて地域への愛着を深め、子どもたちのふるさとをつくる
- 地域のボランティアによる、登下校時の子どもの見守り活動を継続し、地域の中で温かい目で見守っていく

奈良地区

奈良地区は青葉区の西に位置し、町田市と隣接しています。地形の起伏が多く、青葉区内でも有数の緑が多い自然豊かな地域です。住民の交流を通じて地域の絆を深めるようにと、花見や夏祭り等のイベント、グラウンドゴルフや高齢者サロン等の地域活動が活発に実施されています。また、奈良中学校、奈良小学校、奈良の丘小学校をはじめ学校施設も多く、学園地域としての一面もあり、中学生も地域の一員として共に活動しています。



地区内の町丁目 すみよし台、奈良町（奈良北地区を除く）、奈良一丁目、奈良二丁目、奈良三丁目、奈良四丁目、奈良五丁目

第3期計画の振り返り

- 他の団体とも協力して奈良地区の歴史を学べるようなウォーキングや展示を実施する。
- 移動手段の確保については、地区内の施設や地域ケアプラザとも協力して検討していく。
- 地区社協から学校に働きかけて、地域と学校が一緒に取り組めることを検討していく。



推進会議の主なメンバー

地区社会福祉協議会（連合自治会、単位自治会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、老人クラブ、青少年指導員、スポーツ推進委員）

担当地域ケアプラザ：奈良地域ケアプラザ

地域で行われている活動



花見の会



奈良すこやか会



バスハイク

5年後にめざしたいまちの姿

みんなにやさしく活力のあるまち

目標1 親しみの持てる地域コミュニティをつくろう！



取組

- すべての住民が様々な交流を通じて、お互いを尊重し支え合える地域を目指していく
- 地域での「あいさつ運動」を推進し、気軽に声をかける関係づくりを進めていく
- 「行事カレンダー」等を通じて、地域のイベントや暮らしの情報を発信していく
- “地域への愛着”がさらに深まるように、ウォーキングで公園や寺社をめぐるなど地域の歴史に触れる機会をつくる
- 「グラウンドゴルフ」を通じて、学校との連携を強め、世代交流をより深める

目標2 高齢者の交流を活発化させよう！



取組

- すこやか食事会・バスハイク・サロンなどを通じて、地域の高齢者が交流できる機会をつくる
- 老人クラブなどと連携し高齢者が地域で活躍できる機会をつくる
- 「ウォーキング」など健康寿命を延ばす取組をしていく
- 昔遊びをとおして、高齢者と子どもが世代を超えて触れ合える機会を増やす
- 高齢者が孤立しないように、「自治会」「老人クラブ」等と見守りや声かけをしていく

目標3

「地域の子ども」という視点で、 子どもの育ちを応援しよう！



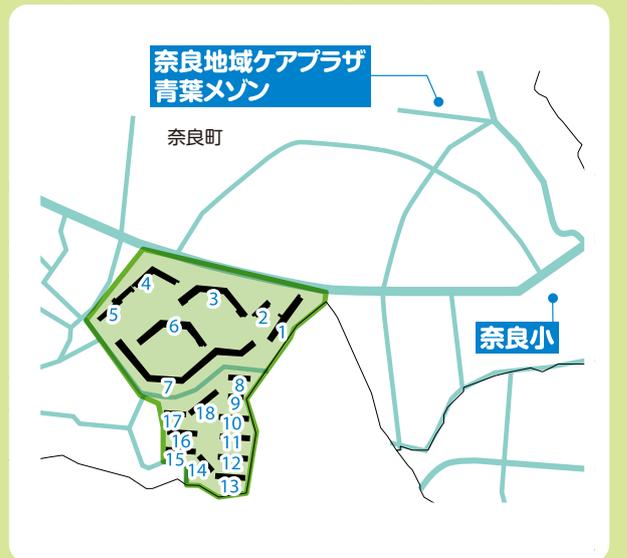
取組

- 子どもが楽しめる企画を子どもと一緒につくっていく
- 学校と連携をして、地域の一員である子どもの声を聴く機会をつくる
- 「防犯パトロール」などの活動を通じて、学校・PTAと連携して、子どもの安全を守っていく
- 子育て関連団体（PTA・子ども会・子育てサークル・おやじの会等）が、地域でより力を発揮できるように、横のつながりづくりを進めていく
- 地域の子育て情報を整理して、発信する

奈良北地区

奈良北地区は青葉区の北西にあり、1971年に入居開始したUR都市機構の賃貸住宅です。連合自治会や地区社会福祉協議会を中心に、サロン、バザー等、長く続いている交流活動がたくさんあります。現在は、子どもたちが巣立ち、高齢者の割合が高くなっているほか、新しく転入する人も多くなっていますが、これからもお互い助け合い、安心して住める団地となるよう、あいさつや声かけを積極的に進めています。

地区内の
町丁目 奈良町（一部）



第3期計画の振り返り

- 若い世代や転入者、高齢者、外国人など、つながりが薄い方々とのつながりづくりができると良い。
- 世代や対象に合わせた広報の工夫により、多くの住民へ地域情報の発信ができると良い。
- 広報やイベントの開催などによる地域活動参加への「きっかけづくり」が必要。
- 担い手同士のつながりと活動の輪を広げ、新たな担い手を確保できると良い。
- 防災・減災を見据えたつながりづくりも必要。



推進会議の主なメンバー

連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進員、青少年指導員、家庭防災員、環境事業推進員、老人クラブ、防犯指導員、ボランティア団体
担当地域ケアプラザ：奈良地域ケアプラザ

地域で行われている活動



こどもなつまつり



クリスマス会



ふれあいサロン

5年後にめざしたいまちの姿

世代や文化をこえて、 お互いに助けあい、安心して暮らせる団地

目標1

子どもから高齢者まで、 団地全体でつながりをつくろう！



取組

- 大人も子どもも気軽に元気よくあいさつし、声をかけあう
- 日ごろの活動や行事を活かして、お互いを知る
- 新しく転入した方なども含め、誰もが参加しやすい居場所やきっかけづくりをする
- 関係団体が連携して、見守り活動等をすすめていく
- 新たな生活様式の中で工夫をしながら活動を続けていく

目標2

みんなのまちに情報を届け 地域活動への参加者を増やしていこう！



取組

- 団地や自治会の良さをみんなで見つけて、情報発信していく
- 世代や文化など対象者に合わせたポスターやチラシを作成して広報する
- 若い世代や転入者に地域に関心を持ってもらい、地域活動に参加してもらう
- 非常時に備えて、備蓄等（自助）やつながりづくり等（共助）を呼びかける

目標3

活動者や参加者のつながりをさらに強め、 地域の輪を広げていこう！



取組

- 定期的に活動団体の情報交換・共有ができる場をつくる
- 地域活動を楽しく継続できるよう活動者同士のつながりをさらに強める
- 行事や防災等の取組を通じて、地域への関心を高める
- 活動団体の取組を広報誌等でPRし、参加者を増やす

5年後にめざしたいまちの姿

誰もが地域とつながり 「ここに住んで良かった」と思えるまち

目標1 地域の中でつながろう！



取組

- 防犯パトロールをしながらの挨拶など、“挨拶”をして隣近所で知り合いを増やす
- 地域の諸行事など、身近な場所で楽しみながら交流できる活動・居場所を増やす
- ラジオ体操などのスポーツを通して、身近な場所で仲間と健康づくりを進める
- 地域活動の情報を積極的に発信し、より多くの地域住民にまちを知ってもらう

目標2 地域 みんなで支えあおう！



取組

- 地域の活動を通して、住民同士の声かけなどの支え合いの輪を広げる
- 子どもから高齢者まで、多世代が継続して参加できる身近な居場所をつくる
- 地域防災拠点の訓練など防災に地域全体で取り組み、自助・近助・共助の力を育てる
- 楽しく気軽に外出できるまちをつくる

目標3 地域の力をつないでいこう！



取組

- 得意なことに参加できる場を設けるなど、地域活動に関わる人を増やす
- 既に活動している人とこれから活動する人がつながるきっかけを増やす
- 子どもたちにまちを好きになってもらうよう、学校とさらに連携を進める
- 各種団体同士の意見交換の場を充実させ、横のつながりをさらに強める
- 地域の伝統行事等を通して、多世代の交流を大切にし、担い手を育成する

荇田地区

荇田地区は、古くは、大山街道の宿場町として発展しました。地区内には、東急田園都市線の江田駅があるほか、東名高速道路、国道246号線、旧大山街道などの交通の大動脈が通っています。地区全体では地域の活動団体が連携して、活発に地域行事を行っている一方、見守りや健康づくりといった新たな取組が自治会などの小さな単位で始まってきています。



地区内の町丁目 あざみ野南一丁目、あざみ野南二丁目、あざみ野南三丁目、あざみ野南四丁目、荇田北一丁目、荇田北二丁目、荇田北三丁目、荇田町（一部）

第3期計画の振り返り

- 子どもから高齢者まで参加できるイベントや地域活動を実施する。
- 幅広い世代に情報が届くよう、地域の情報が一つにまとまった媒体を作成し、周知できたら良い。
- ボッチャなど、楽しみながら運動をし、地域の人々とのつながりを作る機会を増やしていければ。
- 小地域の身近なエリアで見守りができるようにしていきたい。



推進会議の主なメンバー

連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、青少年指導員、スポーツ推進委員

担当地域ケアプラザ：荇田地域ケアプラザ

地域で行われている活動



ふれあい茶話会



体操茶話会



夏祭り

5年後にめざしたいまちの姿

「荇田っていいな」って言えるまち ～みんなが地域に愛着を持ち、安心して暮らせるまち～

目標1

身近な地域の活動をとおして、 住民どうしのつながりをつくろう！



取組

- 地域の誰もが参加できる、集いの場や祭りなど、地域活動を継続していく
- 地域の様々な団体が参加し、横断的な情報共有と意見交換を定期的に行う
- 地域の行事やまちの歴史など、もっと多くの人に知ってもらえるように様々な媒体で情報発信する
- 現在行われている活動も含め、子どもも参加できる工夫や取組を実施する

目標2

スポーツや身近な地域の活動をとおして、 健康づくりに取り組むまちにしよう！



取組

- 誰もが気軽に健康づくりできるよう工夫し、ウォーキングやラジオ体操を継続していく
- 様々な人が参加できるように、身近な場所でポッチャを開催する
- 現在行われている活動の中で、健康をテーマにした取組を広げる
- 地域で行われている健康づくりの活動に、多くの人に参加できるよう広報の工夫をする

目標3

お互いに“助け合い”の心で支え合いの 輪をつくろう！



取組

- 身近な地域や活動で「思い」や「困りごと」を受け止める
- 「思い」や「困りごと」を共有し、解決するために、エンジョイ荇田塾たけのこクラブなどで話し合いの場をもつ
- 小さな単位で「困りごと」を解決する仕組みをつくる
- 災害に備えて、お互いに助け合える準備を日頃から進める

荇田西地区

青葉区の東部に位置する閑静な住宅地で、青葉区の中でも、年少人口割合が高い地域であることが特徴です。地域の取組では、連合自治会主催の「ふるさとまつり」や地区社協主催の「もちつき大会」、ボランティア「えだにし学援隊」による登下校の見守り活動などがあり、身近な地域で子どもから高齢者までの住民同士の交流が活発に行われています。令和2年10月には、コミュニティハウス前庭に「憩いの広場」が新設されました。



地区内の町丁目 荇田西一丁目、荇田西二丁目、荇田西三丁目、荇田西四丁目、荇田西五丁目

第3期計画の振り返り

- もちつき大会等、地域活動に参加することで、地域に知り合いが増え、挨拶・話をする機会が増えた。
- 公園でのラジオ体操等、「小さい単位」の活動が積み重なってつながっていきると良い。
- 学校で開催されるイベントを通じて人とつながった。小中学校との連携も必要。
- 「身近な場所で活動があり」、かつ「自分たちも主役」になれると良い。
- いかに関心を持ってもらうか、ということが重要。担い手と参加者が一体になれると良い。



推進会議の主なメンバー

地区社会福祉協議会（連合自治会、単位自治会町内会、民生委員児童委員協議会、老人会）
担当地域ケアプラザ：ビオラ市ヶ尾地域ケアプラザ

地域で行われている活動



ふるさとまつり



もちつき大会



憩いの広場

荏田西地区 地域福祉保健計画（令和3年度～令和7年度）

5年後にめざしたいまちの姿

身近に知り合いが多く、お互いが支えあえる つながりのあるまち

目標1

地域で知り合いが増える関係づくりと 活動を進めよう！



取組

- 「ふるさとまつり」や「もちつき大会」などの多世代のイベントを通じて、参加者やスタッフが顔見知りとなり、一緒に活動する機会を増やす
- イベントをともに運営することを通じ、各団体が互いの情報を共有し連携した活動を深める
- 地区での取組に加え、各団体やサークル等での集まりがさらに活性化するように支援する
- ご近所で顔の見える関係づくりができるよう、公園でのラジオ体操等、より身近な「小さい単位」での活動の機会を作る

目標2

子どもから高齢者、障がいのある方が いきいきと生活する地域づくりを進めよう！



取組

- 学校と連携し、「えだにし学援隊」などの日常的な見守りとイベントでの交流を通じて、子どもの成長を地域全体で見守っていく
- 「憩いの広場」などの身近な場所で誰もが気軽に集える機会を増やしていく
- 子どもから高齢者、障がいのある方が気軽に交流し、理解し合えるよう、ウォーキングなど地域の活動を進めていく

目標3

誰もが自分らしく参加して、 地域を支える活動を担っていこう！



取組

- 地域を支える団体と協力し、一緒に活動する仲間を継続的に増やしていく
- 現役世代をはじめ、誰もが自分のペースで参加しやすい運営の仕組みを工夫する
- 活動を広報誌やブログで広く伝え、サポーターを増やす
- 活動の中で見出したアイデアや気づきを検討し、行政、区社協、地域ケアプラザ、コミュニティハウスなど関係機関に伝え、働きかけ、一緒に実現をはかる

新荇田地区

新荇田地区は、昭和40年代に宅地開発され、その後自治会を組織し、自治会館を建設しました。この拠点を中心に、新荇田連合自治会や各団体がさまざまな行事を推進しています。高齢化が進む中、近所のつながりをより深められるよう、あいさつ等を通じた地域の交流を大切にしています。子どものふるさとづくりに向けて、異世代交流を進めながら、防犯・防災から小さな助けあいまで、各団体が協力したまちづくりを実践しています。

地区内の
町丁目 荇田町（一部）



第3期計画の振り返り

- 行事の協力者に再度声をかけられる仕組みがあると良い。
- 「安否確認タオル」を配布し、発災時の助け合いや防災の意識を高めたい。
- 「あいさつ運動」をきっかけに顔見知りになり、隣近所の状況を普段から把握できるようにしたい。
- 子どもたちが自由に参加できる、地域での取組があると良い。



推進会議の主なメンバー

連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、老人クラブ、青少年指導員、スポーツ推進委員
担当地域ケアプラザ：荇田地域ケアプラザ

地域で行われている活動



夏祭り



運動会



防犯パトロール

5年後にめざしたいまちの姿

お互いに声をかけあい、 子どもから高齢者まで、みんなを大切にするまち

目標1

「こんにちは！」のひと言で、子どもも大人も
世代を超えてつながる地域にしよう！



取組

- 「あいさつ運動」をきっかけに顔見知りになり、ご近所のつながりを大事にしよう
- パトロールの際に櫛（たすき）を付けて「あいさつ運動」を地域みなさんに知ってもらう
- 顔見知りになり、地域の行事や災害時に声を掛け合える関係づくりをする
- 家族ぐるみで参加できるような、地域に愛着が持てるようなイベントを開催する
- 「子育てサロン」や「異世代交流会」等、既存の取組みを継続し、子どもを介して親同士が繋がりを持てるようにしていく

目標2

まさかの時に備えて、お互い「助けて」と
声が出せる地域にしていこう！



取組

- 災害時の備品チェックリストを活用して各自で災害時に備える
- 災害時に「助けて」と言える関係づくりのため、日頃からあいさつを大切にする
- 防災訓練などを通じて、「安否確認タオル」の活用、災害マニュアルの活用等、災害に備える

目標3

つながりと声かけで、楽しみながら地域を
支える仲間をつくろう！



取組

- 誰もが地域活動に参加できるよう、情報共有の方法や活動内容を工夫する
- 地域の行事の際に「協力受付カウンター」を設置して、地域活動に協力してもらえらるきっかけづくりをする
- 協力して欲しい時に声をかけられるように、人材発掘の仕組みをつくる

すすき野地区

すすき野地区は川崎市に隣接する区北西部に位置し、かつてはなだらかな丘陵地帯でした。現在は集合住宅と戸建住宅が立ち並んでいます。地域活動も活発で、「ふるさと祭り盆踊り大会」は、区内最大と言われています。ただ、少子高齢化は顕著で、特に高齢者の割合は区内でも高く、地域活動を推進する上で担い手不足が深刻な状況です。

今後、横浜市営地下鉄あざみ野駅からの延伸に伴い、次世代の方々にとっても魅力ある生活拠点となるように、連合自治会を中心として「青葉区まちづくり計画」を受け「すすき野まちづくり」プロジェクトを推進しています。



地区内の町丁目 美しが丘西三丁目（一部）、荻子田三丁目（一部）、すすき野一丁目・二丁目・三丁目、もみの木台、鉄町（一部）

第3期計画の振り返り

- 第3期計画目標の推進を継承することとし、「福祉保健計画推進委員会」「福祉活動団体懇談会」「福祉討論会」を通じ、より地域課題の共有と解決策の検討を進めてきた。
- 「すすき野福祉保健計画NEWS」「すすき野地区社協広報誌」の発行などにより、情報や人材不足の改善に取り組んでいる。
- 役員・担い手の負担軽減に向けた現在業務の見直し、改善・工夫を、団体毎に取り組んでいる。



推進会議の主なメンバー

連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、青少年指導員、スポーツ推進委員、地域福祉団体

地域で行われている活動



ふれあいフェスティバル



ふるさと祭り盆踊り大会



高齢者の集い

5年後にめざしたいまちの姿

「住んでみたい」「住み続けたい」と思えるまち ～地域コミュニティに多世代が参加、和やかに安心して暮せる～

目標1 地域コミュニティづくりの促進



取組

- 自治会・町内会、福祉活動団体（老人会、子ども会等）の活動を促進し、多世代が参加し易い地域コミュニティをつくる
- 地域コミュニティを構築するため、次世代の意見を積極的に取り入れる
- 各団体と密接に連携を図ることにより情報を共有し、多くの人が参加できる地域コミュニティをつくる

目標2 生活環境の充実



取組

- 植栽・清掃活動を通して、緑が多く綺麗なまちづくりを推進する
- 「見守り・安否確認」の活動を充実し、高齢者・子育て世代の孤立、引きこもりを減少する
- 災害時の「自助・共助・近助」の重要性を周知し、“人と人の繋がり”を深める
- 防災防犯意識を高め、自治会・町内会活動を通して地域の安全性を強化する

目標3 人材を活用した地域づくりの促進



取組

- 地域活動に関心を持ってもらうように、広報活動の充実を図る
- 「要支援者が安心して住み続けられるまち」「子育て環境の充実したまち」をテーマに、多世代が参加・協働して地域づくりを行う
- 地域活動についてのヒヤリング・意見交換する機会を設け、幅広い世代の参加を促す
- 役員業務の負担を軽減・分散することで、次世代が地域活動に参加しやすい環境を整備する
- 地域活動のデジタル化を推進し、活動時間・活動場所の自由度を高める

美しが丘地区

美しが丘地区は、青葉区の北東部に位置し、1960年代の開発当初から住民がまちづくりに積極的にかかわってきました。遊歩道や街路樹、公園などの地域資源をいかし、緑豊かで誰もが住み心地の良い地域をめざしています。

地区活動では学校や商店街・企業と連携して様々な取組を進めているのも特徴です。また、盆踊り大会やウォーキングなどを地域全体で取り組むことで、住民や団体同士の“つながり”をつくっています。

地区内の
町丁目

美しが丘一丁目、美しが丘二丁目、美しが丘三丁目



第3期計画の振り返り

- 各団体や地域と、「顔の見える関係づくり」ができれば良い。
- 小中学生から高齢者まで、地域活動に関わってもらいたい。
- 地域の団体や地域活動の情報をどのように発信共有していくか。
- 子育て世代とつながりをつくり、多世代交流の場ができ、少々の工夫で家の近くで井戸端会議や交流できる場・仕掛けができると良い。
- 安否確認タスキを配布し、発災時の見守りの意識が高まっている。



推進会議の主なメンバー

連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、老人クラブ、学校・地域コーディネーター

担当地域ケアプラザ：たまプラーザ地域ケアプラザ

地域で行われている活動



健康ウォーキング



黄色い安否確認タスキ



落ち葉清掃

5年後にめざしたいまちの姿

地域を大切に思う新しい仲間を増やし、 地域の一人ひとりがいつまでも健康で 自分らしく暮らせるまちをつくる

* : KeyWord、活動イメージ

目標1

日常生活の場や機会をとらえ、 身近な人とつながりをもつ



取組

- 日頃から声をかけあう関係をつくっていく
- つながりを持てるような場所・機会をつくる
- 学校と地域とのつながりづくり

* : 防犯パトロール、黄色いタスキ、防災訓練、落ち葉清掃、ベンチ、校外委員との連携等

目標2

活動を通じて様々な人とのつながりを広げる



取組

- 活動を行う際には、地域の人がつながりを持てるような工夫をする
- 様々な活動の情報を、広く周知していく
- こどもから高齢者まで異世代交流の取組を引き続き活発に行っていく
- 交流の要素を取り込んだ健康づくりの取組を行う

* : 健康ウォーキング、地域で行われている活動を知る、昔遊び、元気体操、みまもりあいプロジェクト等

目標3

緩やかに活動が続くよう活動の門戸を開く



取組

- 活動団体が情報共有し、地域のことについて話し合い、ネットワークを広げる
- 新たな担い手を発掘する

* : 地区社協助成団体交流会、横のつながり、食を通じて地域活動への誘導等

目標4

新しい生活様式や将来像を見つめ、 暮らしやすい仕組みをつくる



取組

- 外出が難しい人への支援を考える
- 新しい生活様式のなかでも安全に活動する仕組みを作る

* : オンラインの活用、外での活動、外に出てもらうための工夫、移動販売を活用しての見守り等